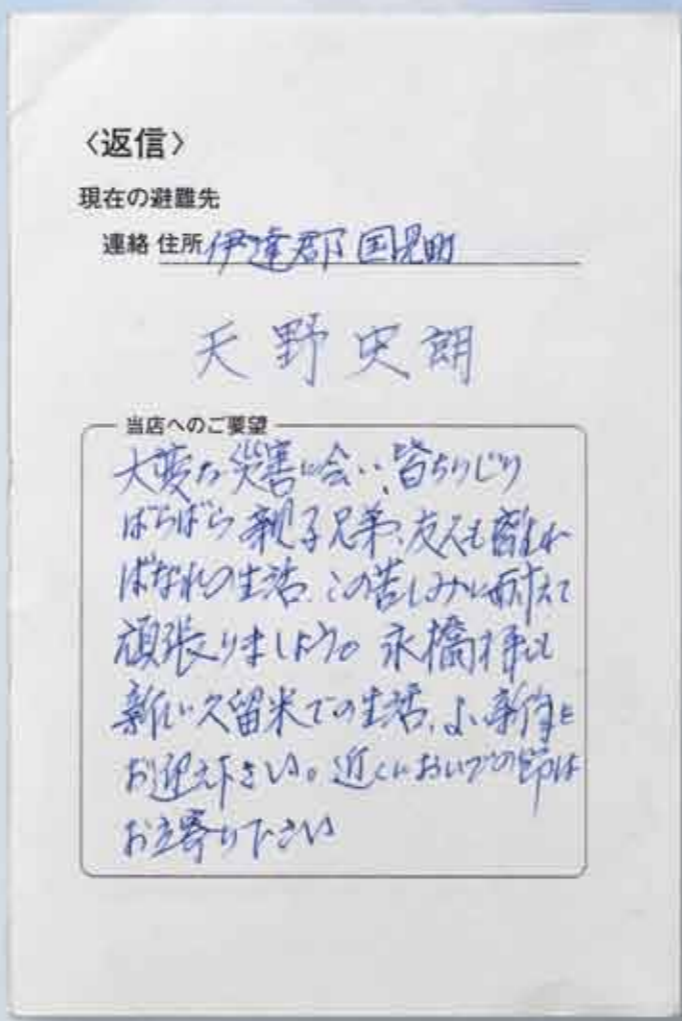
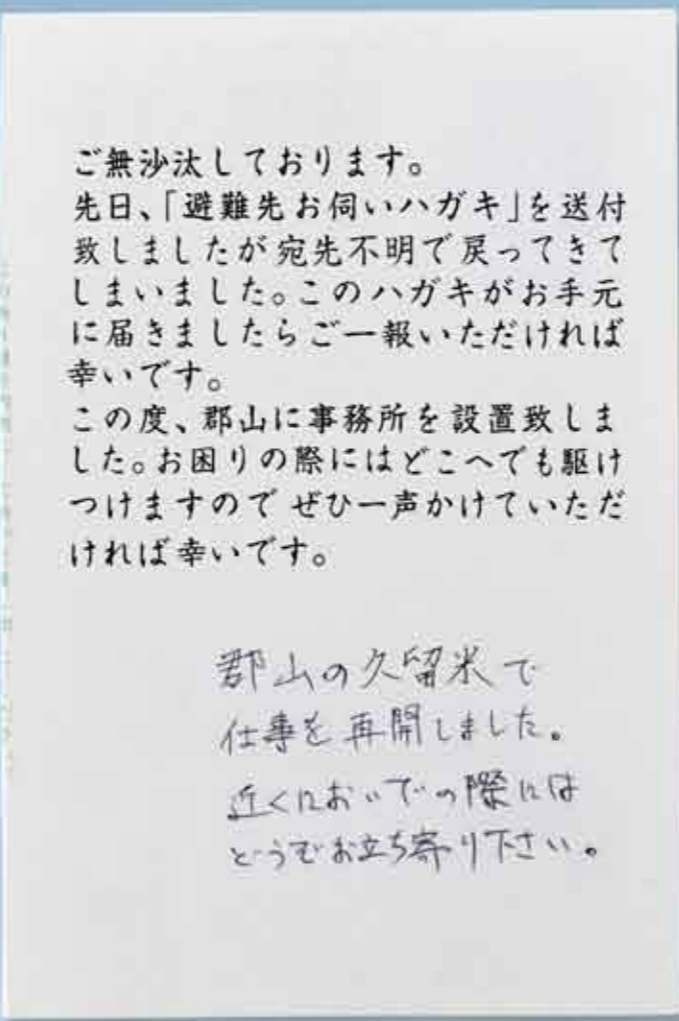


# Panasonic

離れていても、  
こころは町内。



お客さまから届いた返信ハガキの一枚  
(2011年12月30日)



お客さまへ出した往信ハガキ  
(2011年12月15日)



東北の  
街の元気屋  
になる。  
パナソニックの店



安心していただきたい。その一心です。  
離れますが、お客さまとの絆を感じます。

それでも、車を走らせます。

修理に伺うときも、ときには丸一日かかります。

遠くは新潟というところです。商品のお届けや

お客さまの転居先は白河市、いわき市、二本松市

思いやりに満ちた言葉があふれていました。

そこには、同じ境遇だからこそ通じ合う、

逆に、私たちが励まされました。

お客さまから、たくさんの返信が届きました。

「お困りの際には、どこへでも駆けつけます」と

と往復ハガキをお出ししました。

あの日以来、町の人は散り散りになりました。

私のお客さまたち、見知らぬ土地で、

どうしていらっしゃるのかと、思わない日は

ありません。ご高齢の方も多くて、

何か困ったことが起きても、誰にも頼めず、

心細い思いをしておられるのでは…。

とにかく、会って、お話するだけでもいい。

あの当時、私たちが避難先を転々とする

日々でしたが、いてもたってもいられず、

「お困りの際には、どこへでも駆けつけます」と

と往復ハガキをお出ししました。

「少々遠くても、伺いますから」  
往復ハガキで、お客さまの  
転居先を探し、変わらぬ  
お付き合いを続けています。

私は、街のでんき屋です。

うちの店があったのは、福島県浪江町。

あの日以来、町の人は散り散りになりました。

私のお客さまたち、見知らぬ土地で、

どうしていらっしゃるのかと、思わない日は

ありません。ご高齢の方も多くて、

何か困ったことが起きても、誰にも頼めず、

心細い思いをしておられるのでは…。

とにかく、会って、お話するだけでもいい。

あの当時、私たちが避難先を転々とする

日々でしたが、いてもたってもいられず、

「お困りの際には、どこへでも駆けつけます」と

と往復ハガキをお出ししました。

「少々遠くても、伺いますから」  
往復ハガキで、お客さまの  
転居先を探し、変わらぬ  
お付き合いを続けています。

